



COURT MAJOL

No.69

発行 神奈川県女子テニス連盟 (J L T F 神奈川県支部) 広報委員会
 責任者 齋藤 節子
 事務局 谷 貴美子

第25回 全国レディーステニス記念大会全国決勝大会

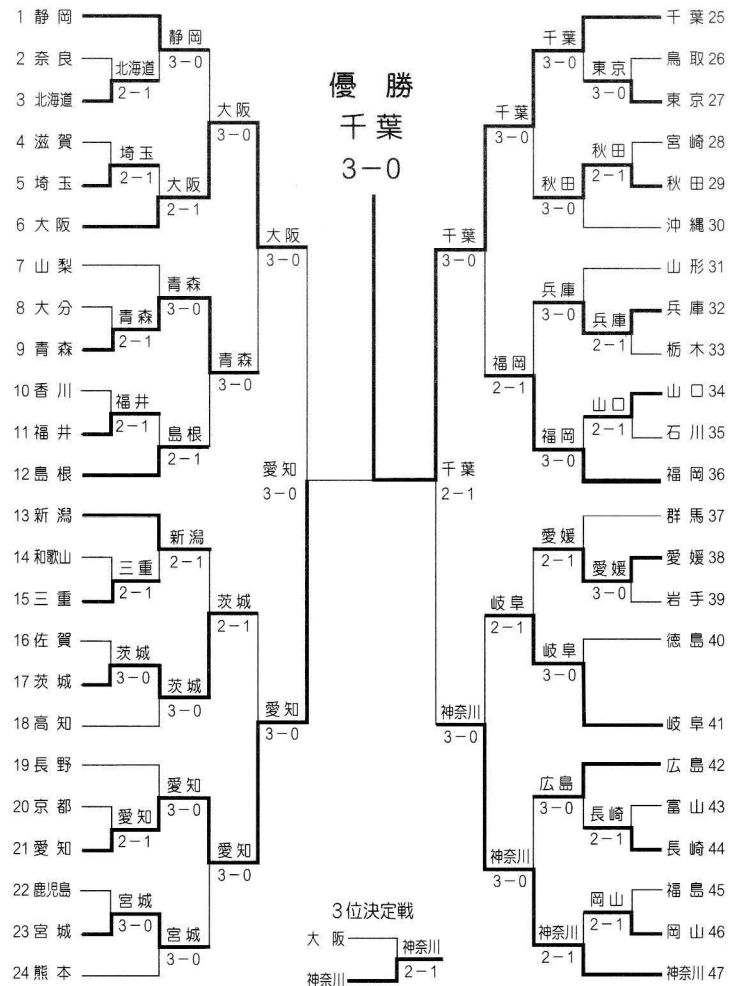
昭和の森スポーツセンター 11月5日~7日

昨年の悔しさをバネにして 神奈川県代表チーム 3位

今年は25回記念大会となり神奈川県代表チームは激戦のすえ3位となりました。昨年と同じ5人のメンバーに頑張り屋の1人がプラスされ、橋口客子さんがアドバイザーに加わりチーム全員が気合いを入れたのでみました。

初日は2回戦入りのため開会式から長時間待っての試合開始となり、岡山県とナイターになるまでの大接戦を制し3回戦に進みました。2日目の3、4回戦はいずれも全勝で最終日へ。準決勝の相手は強豪千葉県、まず梅田・我妻組は先勝しましたが、相田・佐々木組、水川・青木組は共にフルセットを戦った末、もう一歩のところで力及ばず1勝2敗で敗退。大阪との3位決定戦では3組ともフルセットの戦いになりましたが、ピンチの時にはお互いを励まし合い3位という栄冠を手に入れました。駆けつけた大勢の応援団はお手製のうちわが壊れてしまうほど気合いの入った応援振りでした。3日間お疲れ様でした。

- ♥昨年の雪辱を果たすべく全勝でき嬉しかった。
3位より優勝の方が良かったけれど、チーム全員で頑張った結果なので嬉しい。
[梅田・我妻]
- ♥チームみんなの意識が優勝を目標としていたのでキャプテンとして全力を尽くしたが、実際に勝つのは難しく、一番負けたくない準決勝で負けた悔いが残ります。
[相田・佐々木]
- ♥優勝できなくて大変悔しい気持ちで一杯です。
3日間ハードな戦いで疲れました。でも3位で卒業できて嬉しいです。
[水川・青木]

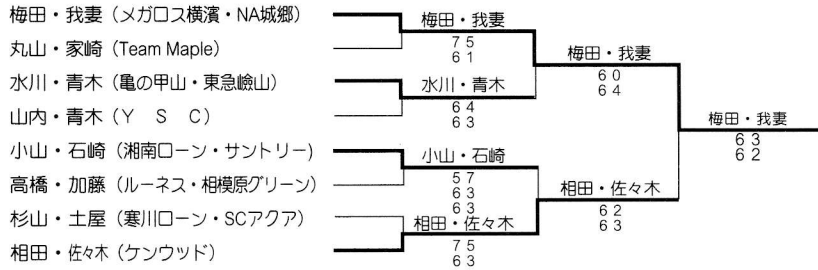


中尾・佐々木・我妻・相田・水川・青木・梅田・橋口

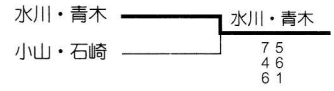
第25回 全国レディーステニス神奈川県大会

予選572組 本選64組 荏原SSC 9月29, 30, 10月1日

今年は、全国大会と同じハードコートに会場を移して代表を選ぶ熾烈な戦いが繰り広げられました。QFともなると全員を代表として送り出したい程レベルの高い試合となり、心技体が備わった3組が選ばれました。若い人達の台頭が目立つ中、ベテランの頑張りも嬉しいものです。



● 3位決定戦



◆ 全国決勝大会祝賀会

全国レディース 3位 ピンクリボンレディース 準優勝

12月11日 藤沢グランドホテル湘南において2大会の全国決勝大会の祝勝会が行われました。選手の晴れやかな笑顔に出席者全員が喜びを再び味わうと共に次の大会に向けてエールを送りました。

第1回ピンクリボンレディーステニス全国大会神奈川県大会

一般の部 216組 50才以上の部 45組 荏原SSC 7月23~25日

第1回の開催とあって一般は募集数を大幅に上回り、予選・本選を行う形式になりました。全国大会出場を狙って緊張感溢れるゲームが展開され、応援も熱が入りました。

いつにもまして華やかな会場では、自信のウェアでカメラに収まり・・・注目のベストドレッサー賞はエレガントにピンクで決めた中澤・城田組が投票で選ばれました。

乳がん撲滅キャンペーンを展開するスポンサーからベストスマイル賞などが提供されました。

- 一般の部
 - 優勝 青木・野沢 (東急嶮山・相模原グリーン)
 - 準優勝 柴田・山内 (Y S C)
 - 第3位 井・碓野 (シードアヤセ・ルーネス)
- 50才以上の部
 - 優勝 坂倉・荘山 (青葉台ローン・NA城郷)
 - 準優勝 井上・南部 (NA城郷)
 - 第3位 大里・小清水 (小田急はたの)



ベストドレッサー賞を狙ってました

ピンクリボンレディーステニス全国大会の審判をして

秋晴れのさわやかな日和の二日間、審判委員会もこの大きな大会のローピングアンパイア・ソロチェアアンパイアとして参加しました。とても興味のある試合方法を紹介します。

16面を使用して47県が一般1組・50才以上1組の4名でチームを組み〈8ゲームズプロセット・ノーアド〉で戦います。チームは第1試合が50才以上のペア、第2試合が一般ペア、1-1になったら一般・50才以上で1ペアを組み、10Pタイブレーク方式で決着をつけました。この第3試合目にもつれ込む試合が多く、厳しいタイブレークの末の歓声は湘南の空に響き渡っていました(神奈川の代表は準決勝まですべて第3試合を制しました)。

団体戦で選手が1人ベンチに入れるのですが、2人でベンチにいたり、コートの外からのコーチングも多く審判は大変! 「フットフォールトを見に来てください」「帽子のロゴが2つあります」「ボールがどこかに行ってしまった」「コンソレの選手がコートに来ません」...そして試合開始の確認・結果報告とそれぞれのコートを飛び回り、大久保レフェリーのもと体力自慢の7名の審判も初日の終了時にはくたくたでした。

試合後の「ありがとうございます、とてもよい大会でしたね」と、選手の方から逆にねぎらわれて...今振り返って、全体の和がとてもよく達成感のある大会でした。

[審判委員会 斎藤 貴代]



第1回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会

荏原SSC 10月30・31日

神奈川県代表チーム 準優勝 ~すごーく頑張りました~

第1回を祝福するかのように雲1つない秋晴れのなか、神奈川県で開催されたこの大会は、ピンクリボン運動（乳ガン早期発見啓蒙促進運動）に協力する主旨で行われました。

我が県代表チームは2回戦入りで、広島を相手に1-1となり、10Pタイブレークは青木・坂倉ペアが粘って10-6で勝利を収めました。監督の土屋幸さんは「選手を信じていた」とのこと。決勝戦まで全てタイブレークを戦い、千葉県との優勝争いは、さすがに熾烈な戦いを続けた疲れか5-10で惜しくも敗れました。

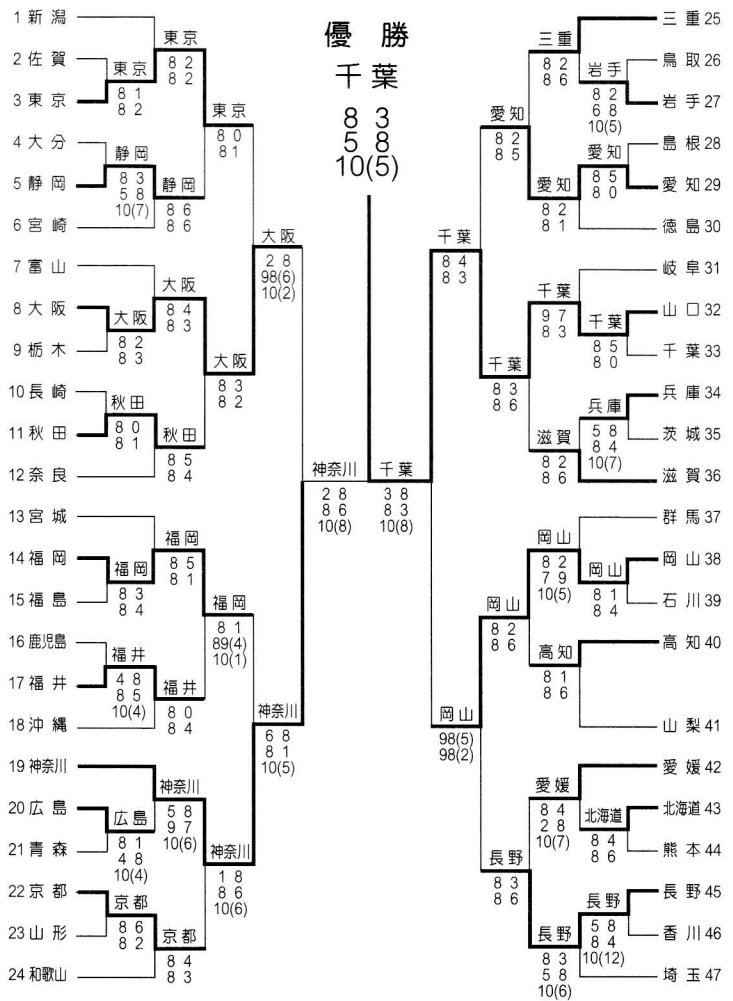
初戦敗退者によるコンソレーションは、一般、50才以上に分かれての個人戦となり、とても楽しめる大会となりました。表彰式で青木さんの頑張りに対し特別賞が贈られました。

大会を終えて

- ♥とにかく頑張ってタイブレークをとり決勝まで進んだのに準優勝は悔しい。でもみんなで一つになり頑張ったことには満足しています。 [青木]
- ♥2日間とても疲れしました。試合中はしっかりと打ってボールを沈めようと心がけました。 [野沢]
- ♥若者と応援の方々に支えられ楽しい2日間でした。団体戦の楽しさを味わうことができました。 [坂倉]
- ♥若い人に助けられ、感謝、感謝です。 [荘山]



野沢・青木・土屋・荘山・坂倉



第3回 軽井沢CUP (年齢別チーム戦) 風越公園テニスコート 8月20日

参加選手： 高橋・金子組 岸本・芦谷組 神野・吉岡組

前日までの悪天候が嘘のようにさわやかな好天に恵まれた大会当日、我が県は、美知花杯優勝のチーム・タイフーンが出場いたしました。どの県も精鋭を揃え、3チーム同率という激戦で得失点差により準優勝でした。選手の皆様お疲れ様でした。そして長野県支部の皆様ありがとうございました。(監督：入澤)

大会結果 1位：千葉 2位：神奈川 3位：長野 4位：埼玉 5位：東京

第36回 神奈川県女子テニス連盟 ダブルストーナメント

厚木南毛利テニスコート 11月19, 21, 26日

絶好のテニス日和でスタートした大会が雨のため決勝が1週間後になりました。落ち葉の舞うコートでは白熱した戦いが繰り広げられ、一般の準決勝、決勝は互いにゆずらぬラリーの応酬に応援の人々はくぎ付けになりました。年齢別の一般に劣らない戦い振りにテニスの素晴らしさを再認識しました。

●一般の部.....64組

田中・杉山 (寒川ローン)	田中・杉山			
石崎・小山 (サントリー・湘南ローン)	6 2	橋本・野本	4 6	
橋本・野本 (個人・鳥ぎゆん)	7 5	橋本・野本	6 0	
内田・関口 (相模原グリーン)	6 1	橋本・野本	6 2	
和田・岸本 (足柄ローン・ウインズ)	6 0			上館・稲木
岸宗・待鳥 (SCアクア・京浜)		和田・岸本		2 6
原・穂積 (湘南平)	6 7(6)	和田・岸本	7 5	6 4
上館・稲木 (個人・湘南ハイランド)	6 4	上館・稲木	1 6	
	7 5	上館・稲木	7 6(4)	
			6 2	



稲木・上館



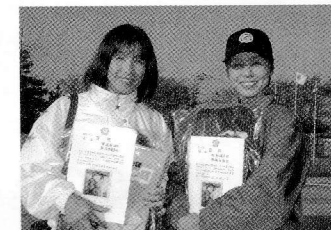
野本・橋本

♥上館・稲木 3年目にして念願がかない優勝できてうれしい！ゆるいボールに苦戦したが強気で行くしかないと思った。

♥橋本・野本 また2人で試合の流れを考えながら挑戦したい。

●50才以上の部.....18組

平田・末木 (湘南ローン・ルネス)	桧垣・渡辺		
桧垣・渡辺 (東急有馬・東急嶮山)	6 4	桧垣・渡辺	
竹内・佐伯 (サントリー・上野グリーンヒル)	6 3	桧垣・渡辺	
橋本・土屋 (夢見ヶ崎・SCアクア)	6 2	竹内・佐伯	WO
	6 4		



渡辺・桧垣

♥桧垣・渡辺 前日から栄養ドリンクを飲んで足ツボマッサージも受けて万全の備えで臨んだ決勝でしたが、一戦交える事が出来なくて残念でした。

●55才以上の部.....7組

神野・吉岡 (湘南ファミリー・中央林間)	神野・吉岡
大谷・只隈 (相模原グリーン)	6 1
	7 6(3)



吉岡・神野

♥神野・吉岡 ラジオの占いは「始めは苦戦するが、後はよい方向に行く」本当だった！今日は戦う前から楽な気持ちで“勝てる”と思った。

●60才以上の部.....7組

三浦・板谷 (YSC・NA城郷)	三浦・板谷
平田・山下 (大島フワワ・相模原グリーン)	6 7(1)
	6 4
	6 4



三浦・板谷

♥三浦・板谷 新しい出会いでパートナーとなり、よく走り、ボールに飛びつき自分なりのプレイができた。また先日急逝された飯沼さんに優勝を誓ったので勝ててうれしいです。

IT委員会が発足してホームページが充実してきました。大会の結果もその日のうちに分かります。写真もたくさん載っています。貴女も写っているかもしれません。ぜひ開いてみてください。

募金報告

A L T 基金 48,662円
 日本車いすテニス協会ヘジュニア競技用車いす10台を日本女子テニス連盟が寄付。その一部を担いました。

難民教育基金 117,780円
 『日本女子テニス連盟国連難民対策募金窓口』口座振り込み

第25回 ブロック別シングルストーナメント

Aブロック

等々力庭球場 10月7日~9日

● 一般の部 109名

宮川 初枝 (SPC)			
大滝 節子 (TTK)	6 2	伊藤	
	6 3		
青木 栄子 (YTC)		3 6	諸江
伊藤美恵子 (KLTC)	3 6	6 2	
	6 3	6 4	
	6 3		

● 50才以上の部 12名

福田美希子 (あざみ野ローン)		諸江
諸江 博子 (サンスポーツ)		6 4
		6 1



大滝・伊藤・諸江

♥長い試合になりましたが、倒れるまで頑張ろうと思いました。50才以上の決勝戦がすばらしく、負けていられないと元気づけられました。[伊藤]

♥足がつってしまったり苦しい時もありましたが、途中でやめずに最後まで頑張ろうと思っていました。[大滝]

♥出場したかがありました。4年目にしての卒業で、とてもうれしいです。[諸江]

Bブロック

南郷上の山公園テニスコート 10月7日~9日

● 一般の部 75名

立川 英子 (横須賀)			
小林千恵子 (SCアクア)	6 4	小林	
	6 2		
石角 睦子 (SCアクア)		6 1	津田
山本 裕子 (サンブリッジ)	0 6	5 7	
	6 3	6 3	
	6 2		

● 50才以上の部 21名

津田ちかげ (横須賀タイヤランド)		津田
長倉 洋子 (横須賀タイヤランド)		6 3
		7 5



山本・小林・津田

♥練習のように打ちたいと思っていましたが、なかなかできませんでした。応援してくださった方々に深く感謝します。[小林]

♥風がとても強かったのですが、ラケットを振り切ることができるように努力しました。今でも信じられませんが、卒業できて大変うれしいです。[山本]

♥勝とうという気持ちより平常心でプレイしたいと思っていました。今年は単複で優勝でき、夢のようです。一緒に練習して下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。[津田]

Cブロック

桃浜コート、田村コート 10月7日~8日

● 一般の部 111名

野崎 映子 (湘南平)			
森 一代 (足柄ローン)	7 6(1)	岸本	
	6 4		
長尾 文子 (荏原SSC)		6 3	伊与田
岸本 匡美 (ウインズ)	0 6	7 6(0)	
	6 4		
	7 5		

● 50才以上の部 22名

伊藤 文江 (湘南ローン)		伊与田
伊与田登美子 (足柄ローン)		6 1
		6 1



野崎・岸本

伊与田

♥優勝など考えていなかったのととてもうれしいです。今年、単・複卒業できてとてもうれしいです。[岸本]

♥3日間しんどかったです。一緒に練習してくれた仲間達、応援してくれた人達に感謝しています。[野崎]

♥3回目の出場で優勝できると思っていなかったのととてもうれしいです。[伊与田]

Dブロック

横浜スポーツマンクラブ 10月7日~9日

● 一般の部 66名

松原 美幸 (YSC)			
上杉三起子 (瀬谷グリーン)	6 3	宍戸	
	3 6		
梶原あつ子 (相模原グリーン)		6 1	武田
宍戸千江美 (左近山RTH)	6 1	6 3	
	6 1		

● 50才以上の部 8名

青木 令子 (笠 間)		武田
武田 秀子 (YSC)		6 3
		6 4



上杉・宍戸・武田

♥楽しい気持ちでシングルスができて良かったです。もっとルールの勉強をしたいと思います。[宍戸]

♥一日、一日の試合が大変でした。[上杉]

♥大変うれしいです。いつも練習して頂いた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。アドバイスを頂いた方々ありがとうございました。[武田]

第14回 ブロック対抗親睦戦 横浜国際プール 12月8日

選手も応援団も一体となるこの大会は年齢を忘れ会場が激しく燃える年内最後の試合です。ピンク・緑・黄・赤の工夫を凝らした衣装をまとい、ポイントごとの歓声は試合以上の盛り上がりです。

最初の対戦相手を決める“じゃんけん”には気合いが入ります。「万年ビリのB」といわれたBブロックがじゃんけんで強敵Aブロックから逃げて準優勝。

3位決定戦は最後の勝敗にかかり壮絶な戦いとなりました。C、Dの応援団全員がコートサイドにならび選手とともに戦いました。試合終了後に応援合戦が行われ、Dブロックの応援団長松藤さんに「応援個人賞」、Bブロックのカエル群団に「応援賞」が送られました。

こんなに楽しい大会はありませんよ！

来年はぜひ応援に参加してください。[谷 貴美子]

●優勝 Aブロック

♥終わってみれば2連覇の快挙！途中ピンチになると応援団の声が鳴り響き、選手のプレイを盛り上げ、みんなで掴んだ勝利。多くのご声援・協力に感謝、楽しい一日でした。 [兵頭]



●2位 Bブロック

♥選手も、応援も、ジャンケンもパワー全開で“キ・セ・キ”の準優勝でした。 [佐藤]



●3位 Dブロック

♥ピンクパンサーのDは惜しくも3位決定戦にまわり、最後の試合にポイントがかかりましたが全員の応援で勝利！優勝したかのような盛り上がりで、とても楽しい大会でした。 [竹内]



●4位 Cブロック

♥選手も応援も赤々と燃えましたが1ポイント差で負け…4位。白熱したゲームばかりで応援グッズの鈴をとぼしながら声援をおくり、来年こそは優勝をゲッツ！ [田中]



第5回 関東八都県シニア親睦マロニエ大会 栃木県那須野原公園 11月27・28日

選手 50～54才：甘粕・青木 55～59才：野崎・村上 60才以上：板谷・平田

寒さを感じながら、早朝の新幹線で那須塩原へ。気合い十分で試合にのぞみました。

グループ分けの試合は地元栃木に勝ち勝者グループ入りとなり、4県でのリーグ戦は休む間もなく試合が続くなか選手達は良くがんばり3位になりました。埼玉・千葉に1勝2敗で敗れた試合は5-6と善戦し、優勝～4位までの実力の差はほんのわずかでした。

試合後のパーティーでは、おおいに盛り上がり他県の選手とも親睦を深めることができ思い出深い大会になりました。[監督 遠藤良子]

大会結果 1位：埼玉 2位：千葉 3位：神奈川 4位：東京

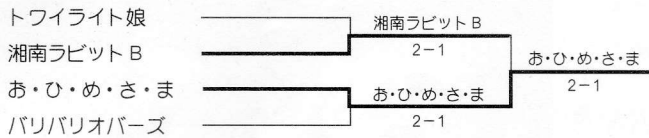
第13回 すみれ会チームトーナメント 63チーム

荏原SSC
横浜スポーツマンクラブ

9月16日
10月14日/11月4日

初日は晴天で幕があき、ビオラのリーグ戦で熱戦が繰り上げられましたが、その後の試合は雨で11月4日にのびてしまいました。最終日は暖かく華やかなウエア姿がコートに舞いました。お互いにカウントが解らなくなるほど白熱したゲームもあり、準決勝・決勝共にビオラ、パンジーそれぞれのNo.3の勝敗で決着がつくという大接戦でした。長い期間に渡った大会も皆様の協力で無事終了しました。 [坂口久子]

●ビオラチーム



優勝 お・ひ・め・さ・ま

♥皆さんの好奇な視線に耐えながら…でも最後に頭上のティアラを輝かせることができました。

準優勝 湘南ラビットB

♥思いもよらず決勝まできてしまい、まさか信じられない！もう笑っちゃう！チームワークがよかったねー。

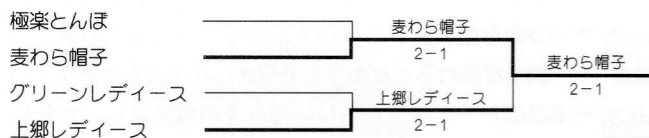


お・ひ・め・さ・ま



湘南ラビットB

●パンジーチーム



優勝 麦わら帽子

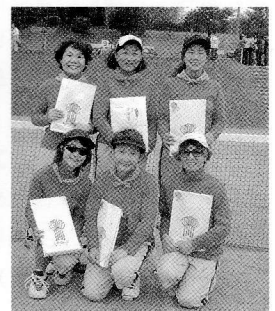
♥3度目の優勝！嬉しさ3倍！同じメンバーで優勝を遂げ2連覇したので3連覇を狙います。

準優勝 上郷レディース

♥日程がのびたのにもかかわらず6人が揃って力を合わせ楽しく決勝まで進め、こんなにうれしいことはありません。（孫が生まれそうな人もいたのにね）



麦わら帽子



上郷レディース



第8回 すみれ会親睦旅行 南紀白浜の巻

11月12~14日 35名

朝まで降っていた雨も止んで一行は新幹線で出発、着いた名古屋の空も快晴でした。ここから観光バスに乗り換えて伊勢神宮に参拝、2泊3日の旅の無事を祈りつつ1泊目の勝浦ホテルに到着。時間が遅くなったこともあり温泉廻りのなんとあわただしいこと、お湯の中より動き廻るほうが忙しい1日目、夜の宴会はカラオケ、ハワイアンと盛り上がりました。2日目は那智の滝を見学後、和歌山・田辺の人達と親睦テニス。コート数が少なかったために思いっきり汗を流す事が出来なかったのは残念でしたが、翌日のバス移動のためには体力が残った方が良かったかも……。3日目南紀の海岸線を走って海の青、空の青で久しぶりにすがすがしい気分になり、千畳敷、道成寺参拝とバスの中ではゲーム等で過ごし、新大阪より全員無事に帰ることが出来ました。参加して下さった方々バスの長旅本当にお疲れ様でした。 [矢後八重子]



ふれあい

ファミリーテニスで楽しく

姫野富士子
(相模原グリーンテニスクラブ)

還暦を迎え、元気で楽しくテニスを続けていられるのも健康であるからと感謝しています。

29年前、我が家から徒歩5分の所にテニスコート(相模原グリーンテニスクラブ)がオープンしたので、育児の手が少し離れたのを機会に生涯スポーツとして夫婦でテニスを始めました。2人の娘もテニスを始め、これが我が家のファミリーテニスの始まりです。

楽しむだけでは物足りず、試合に参加したいという意欲も生まれ、家族の理解と協力のもと試合に出場するようになりました。試合で家を留守にする時、夫が子供の面倒をみてくれたり、家族で応援にきてくれたこともありました。女子達の諸先輩やパートナーに恵まれて多くの素晴らしい思い出ができました。中でも2人の娘達と出場したダブルスはとても嬉しい思い出の一つです。

現在は娘達と4人の孫に囲まれ、親子、孫の三代でテニスに親しんでいます。「できれば孫と試合に出場できたらなー」という夢を持っていました。長女は海外赴任で台湾に、次女はスーパの冷めない距離に住み3家族ともテニスを楽しんでいます。台湾在住の孫から夏休みに帰国したら母と子のトーナメントに出場したいと言われ、娘と孫(中学2年生)、私と孫(小学5年生)の2ペアでエントリーしました。日頃一緒にテニスが出来ないため孫の実力も定かではなく不安と嬉しい気持ちが交錯しました。試合の前に3日ほど2時間の練習(特訓?)をして臨みました。結果は、中学女子の部=優勝、小学生高学年の部=ブロック2位でした。一生懸命頑張って出来たと満足している孫の



顔を見て参加して本当に良かったと思いました。

当日はとても暑い日でした。小学生低学年ではラケットに振り回されそうな子、高学年の部では逆に母親をリードする子、中学生の部では大人顔負けのパワータクニック、たくましさを見せてくれた子等々、皆真っ赤な顔に汗いっぱい最後まで頑張っていました。試合が終わるとどの子もお母さんと健闘をたたえあい、このトーナメントらしい母と子の微笑ましい姿を見て心を和ませました。

孫達は来年も出場したいと言い、私も出来ればこの楽しい経験をしたいと思います。次女の孫も刺激されたのが、今は夫と私で練習相手になっています。次女の孫たちとも母と子のトーナメントに出場できる時が来る事を期待してテニスを続けていきたいとおもいます。そして、今回参加したジュニアの中から、立派な技術・マナーを身に付けた日本を代表する選手が生まれて欲しいものです。



第10回 ひまわり大会



■Cブロック 10月21日

桃浜庭球場 64組 鶴沼八部運動公園 32組 秦野中央運動公園 64組

天気予報は雨でしたが朝から晴れて絶好のテニス日和になりました。表彰式の時の皆さんの表情が充実感に満ちていたのが印象的でした。来年は今年以上に満足してもらえる大会にしていきたいと思います。

[朝尾弘子]

■Dブロック 7月8日

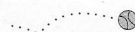
横浜スポーツマンクラブ 80組

相模原グリーンと横浜スポーツマンの2会場に分け行う予定でしたが、相模原グリーン会場は雨のため来年1月20日に再度行います。横浜スポーツマン会場では、ひまわり大会とはいえレベルが高くなり、試合が初めてという初心者から桑名杯で予選を勝ち抜きたいという人もいて、グループ分けに苦労しました。

[竹内昭子]

第12回ヨコハマハンディテニス大会

12月7日



暖かく絶好の大会日和に恵まれ、140名の選手、120名のボランティアが集う三ツ沢で楽しくにぎやかな交流、そしてコート上ではあちこちで熱戦が繰り広げられました。

県や各市の後援、かながわ・ゆめ国体基金の援助、企業の協賛、個人のご寄付と数え切れない程のご協力で長い準備段階から前日準備までを進めることができました。しかし大会は12回目にして初めて予備日への延期を体験し、ボランティアの手立てや準備された物の修正などで大変貴重な体験をしました。

会員の皆様には突然のお願いにもかかわらず気持ちよくボランティアを引き受けて下さり本当に感謝しております。心よりお礼申し上げます。

この大会は、大勢のボランティアの参加に支えられていることをつくづく実感します。選手の方が帰り際に「また来年きま〜す」と声をかけて下さるのが何よりのご馳走となった一日でした。

[大会委員長 松丸 緑]



■ 第20回 日本車いすテニス競技大会 8月28~31日

8月末の炎天下、厚木南毛利コートにて開催され、ボランティア・審判約60名が競技進行に協力しました。20年前七沢リハビリセンターにテニスを導入したことがやがて日本で初めての車椅子大会誕生へとつながっていきました。今年も全国から再会を喜び、テニスを楽しむ選手、世界への足がかりとしてポイントをとりにくる選手とさまざまな参加のかたちでこの大会を盛りあげていました。

[松丸 緑]

2003 母と子のテニス大会

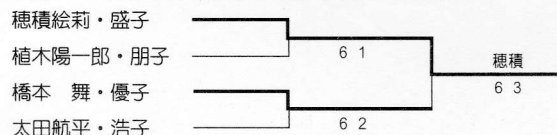
小田原テニスガーデン 36組 8月7日

猛暑の昨年に比べ今年はテニス日和かなと思いきや、やはり太陽が顔を出し暑くなりました。選手達は熱戦を繰り広げて汗びっしょり。ある母娘は一試合ごとにパールックでお召し替え“うらやましい…”コートを見るとお母さん同士の激しいラリーの応酬。子供達はどうして良いやら…。隣のコートは孫とのペア。ニコニコしながら、やさしくボールをまわしてラリーを楽しんでいました。中学生は5チームのリーグ戦。お母さんの体力が限界で動けなくなると「立っているだけでいいヨ」と娘のやさしいひとこと。なんとも微笑ましい。来年もまた会えるといいですね。

[浜野ちず子]

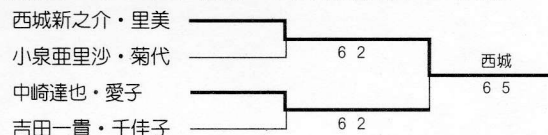
◎小学1~4年生の部 (9組)

決勝トーナメント優勝 穂積絵莉・盛子組



◎小学5~6年生の部 (16組)

決勝トーナメント優勝 西城新之介・里美組



◎中学生男子の部 (5組)

リーグ優勝 成田一平・荻山純子組 4勝0敗



◎中学生女子の部 (6組)

リーグ優勝 向井麻衣・昌子組 4勝0敗



計 報

・飯沼恵子様 (サントリーテニスガーデン) Dブロック
■お亡くなりになる前日もテニスをなさっていたそうです。
心からご冥福をお祈り申し上げます。



■ 編 集 後 記 ■

・手探りしながらここまでできました。オシャレりは大好きですが文才はありません。でも頑張ってみます。(信夫)

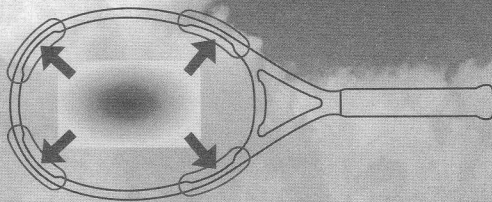
YONEX

より広く、
より快適に。



「4XPアイソメトリック形状」採用。
スイートスポット13%拡大、
反発力5%アップ。

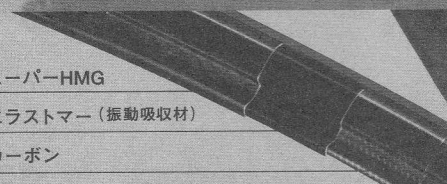
フレームの四隅にくぼみを設定することで、ストリングの縦と横の均一化がさらに進化した「4XPアイソメトリック」を新開発。その結果、スイートスポットが円形ラケットに比べ13%拡大。激しいボレーの応酬や厳しい局面で威力を発揮します。



超高弾性カーボン
「スーパーHMGP」採用。
シャフト部を33%軽量化。

シャフト部に超高弾性カーボン「スーパーHMGP」を採用。従来のV-CONシリーズに比べ、シャフト部を33%軽量化に成功すると同時に、不快な振動・衝撃をカットする三層ハイブリッド構造が、肘に優しく快適な打球感を実現しました。

スーパーHMGP
エラストマー（振動吸収材）
カーボン



ハイブレーションコントロールシャフト

もっと、気持ちのいいテニスを。

V-CON 30+ 新発売

107 inch² **117 inch²**
¥36,000 ¥36,000
(税別)フルラケットケース付 (税別)フルラケットケース付

素材/スーパーHMGP+エラストマー+超高弾性カーボン カラー/SPEC117:シルバー、SPEC107:レッド
サイズ/SPEC117:G1・2・3(235~250g)、SPEC107:G1・2・3(240~255g)

ヨネックス株式会社 東京/03-3836-1221 大阪/06-6768-7261 名古屋/052-323-5541
仙台/022-232-1221 福岡/092-472-8751 www.yonex.co.jp



最適ストリング
ATG132NB¥4,200(共通)
ATG128NB¥4,200(共通)
ATG850S¥2,800(SPEC117のみ)
ATG850¥2,500(SPEC107のみ)